

令和4年9月30日 14時00分
近畿地方整備局
姫路河川国道事務所

国道2号 ^{あいおい う ね}相生有年道路の一部区間(相生市若狭野町八洞^{あいおい わかさの ちょうはつどう}～同市
^{わかさの ちょうわかさの}若狭野町若狭野間の1.5km)が10月30日から4車線になります

2車線から4車線への拡幅工事を進めております国道2号 ^{あいおい う ね}相生有年道路(延長8.6km)において、^{あいおい わかさの ちょうはつどう}相生市若狭野町八洞～同市若狭野町若狭野間の延長1.5kmが、令和4年10月30日(日)早朝に2車線から4車線に切替わることとなりましたのでお知らせします。

○主な整備効果

① 4車線化による地域の安全・安心の向上

- ^{あいおい う ね}相生有年道路の未整備区間では、正面衝突及び追突事故の発生割合が兵庫県内の一般国道の平均より高くなっています。また、自転車歩行者道が未整備であることから車両と歩行者・自転車の通行が接近して危険な状態となっています。

今回の整備で、中央分離帯の設置による正面衝突の抑制や交通混雑の緩和による追突事故の減少が期待されます。また、道路の両側に自転車歩行者道を整備することにより、歩行者・自転車の安全性が確保されます。

② 4車線化による沿道の生活環境の改善

- ^{あいおい う ね}相生有年道路事業区間では、夜間の大型車混入率が最大約91%と極めて高く、騒音は昼夜問わず環境基準を超過しています。

^{あいおい う ね}相生有年道路の整備済区間では遮音壁の設置等により、沿道騒音が改善し、昼夜とも環境基準を満たしていることから、今回整備区間においても沿道騒音の改善が期待されます。

<取扱い>

<配布場所> 兵庫県政記者クラブ、西播磨県民局庁舎内記者室、相生記者クラブ

<問合せ先> 国土交通省 近畿地方整備局 姫路河川国道事務所

事業対策官 ^{こまる ひろし}小丸 博司(内線208)

調査課長 ^{うちだ よしき}内田 佳希(内線451)

電話:079-282-8211 (代表)

○国道2号 相生有年道路の概要

相生有年道路は、相生市及び赤穂市の国道2号における交通混雑の緩和、交通安全の確保、沿道騒音の改善等を目的とした延長8.6kmの道路です。

今回、相生有年道路の延長8.6kmのうち、相生市若狭野町八洞～同市若狭野町若狭野の延長1.5kmが2車線から4車線に切替わります。

○道路概要

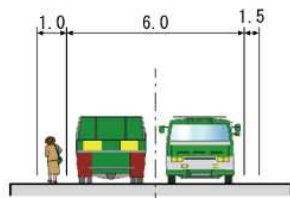
区 間	(起) 兵庫県相生市若狭野町入野 (終) 兵庫県赤穂市東有年
道路延長	8.6km
構造規格	第3種第1級
設計速度	80km/h
車 線 数	4車線
標準幅員	26.0～30.0m

○事業の主な経緯

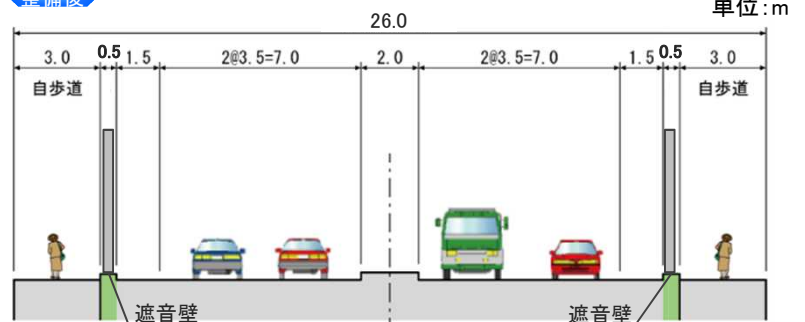
年度	事業実施項目
昭和60年度	有年道路事業化(15,16工区)
平成元年度	有年道路都市計画決定
平成4年度	都市計画決定(14-1～2工区)
平成11年度	都市計画変更(14-1～16工区)
平成12年度	有年道路の事業区間を延伸(14-1～16工区) 事業名を相生有年道路に変更
平成21年度	14-1工区 L=0.4km整備
平成27年度	14-1工区 L=1.8km整備(14-1工区全線)

○標準断面図

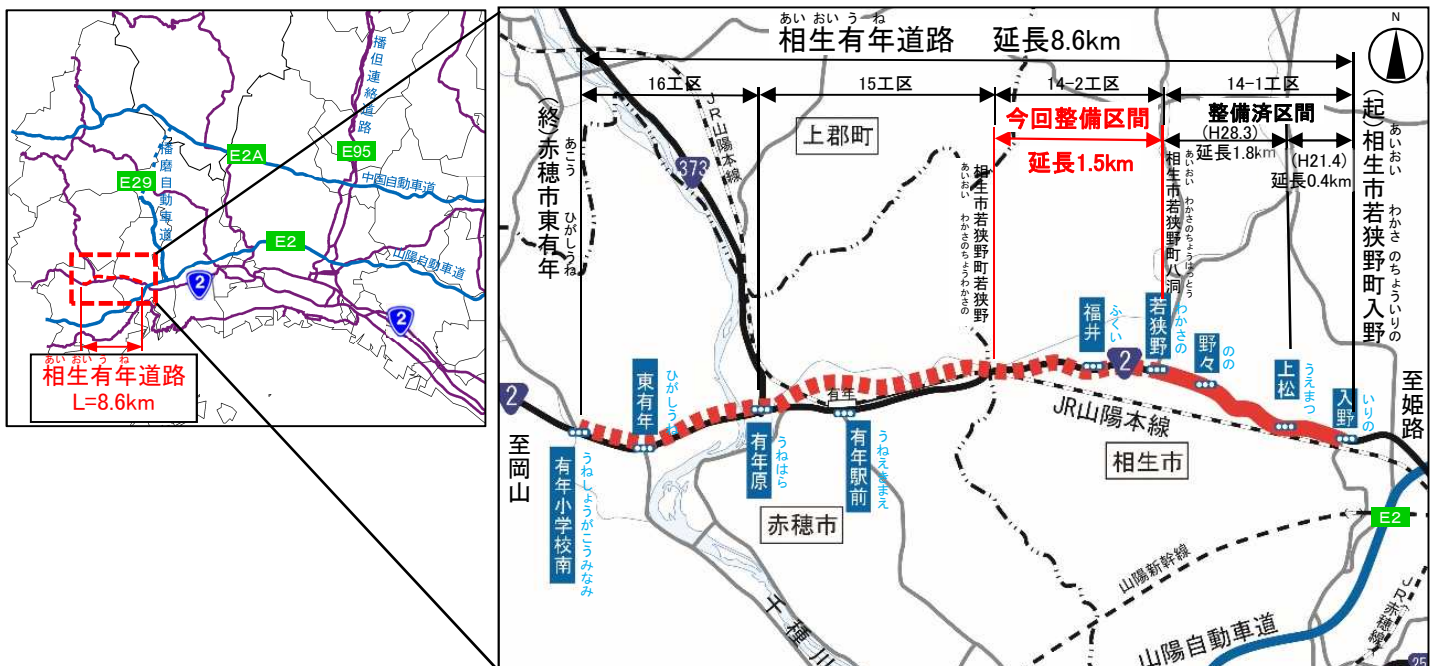
整備前



整備後



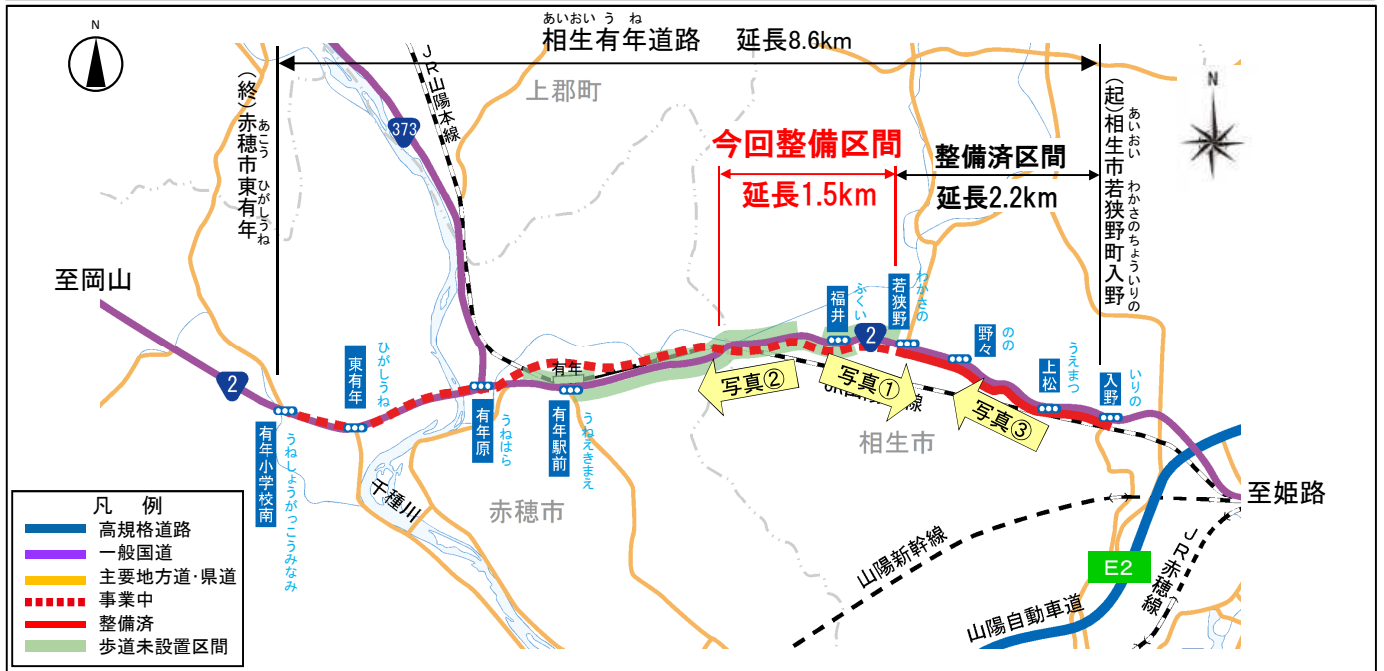
【位置図】



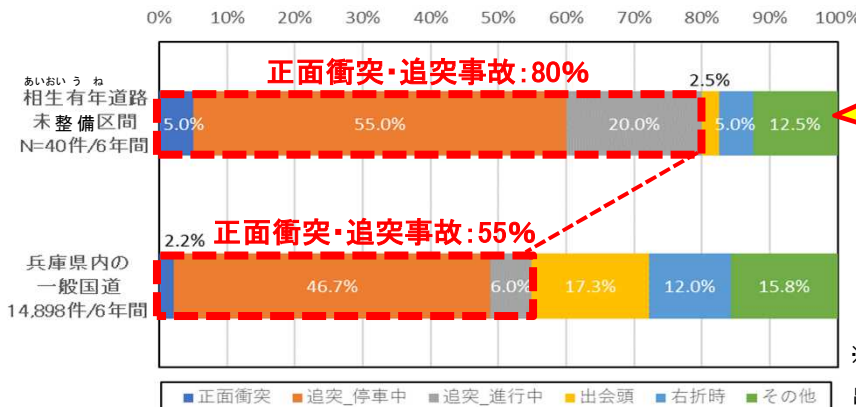
地域の安全・安心の向上

相生有年道路の未整備区間では、正面衝突及び追突事故の発生割合が兵庫県内の一般国道の平均より高くなっています。また、自転車歩行者道が未整備であることから車両と歩行者・自転車の通行が接近して危険な状態となっています。

今回の整備で、中央分離帯の設置による正面衝突の抑制や交通混雑の緩和による追突事故の減少が期待されます。また、道路の両側に自転車歩行者道を整備することにより、歩行者・自転車の安全性が確保されます。



事故形態の比較 (相生有年道路未整備区間とその他兵庫県内の一般国道)



正面衝突及び追突事故の発生割合が兵庫県内の一般国道の平均より高い

※「未整備区間」はH25-H30時点の未整備区間である
出典)事故統合データH25-H30(整備前)

整備による効果

【整備前】

写真① 至姫路

至岡山

野々交差点付近(H23年7月13日撮影)

幅員が狭く大型車の擦れ違いが危険な状態

写真② 至岡山

至姫路

福井交差点付近(H29年9月13日撮影)

車両と歩行者・自転車の通行が接近して危険な状態

【整備後】

写真③

至岡山

至姫路

野々交差点付近(H29年4月12日撮影)

今回整備区間でも事故の抑制や歩行者の安全性確保が期待されます

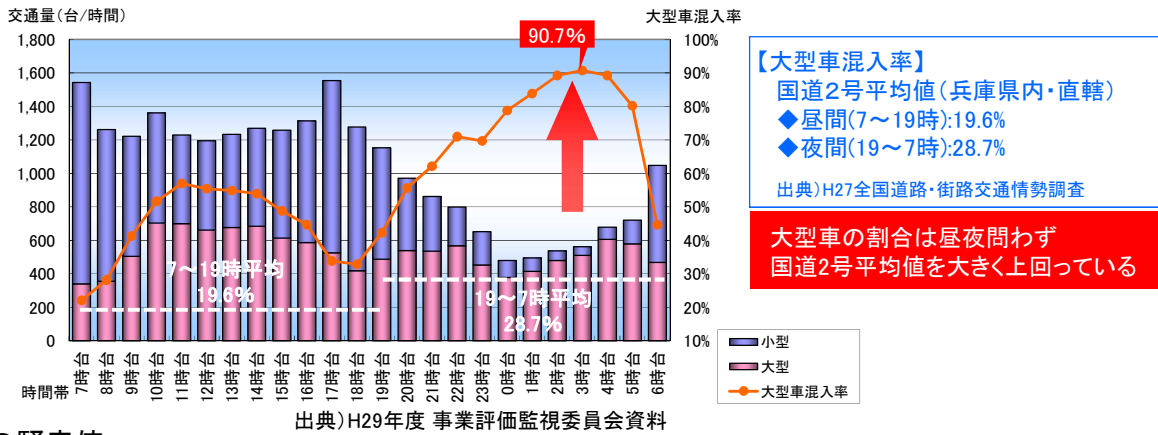
沿道における生活環境の改善

相生有年道路事業区間では、夜間の大型車混入率が最大約91%と極めて高く、騒音は昼夜問わず環境基準を超過しています。

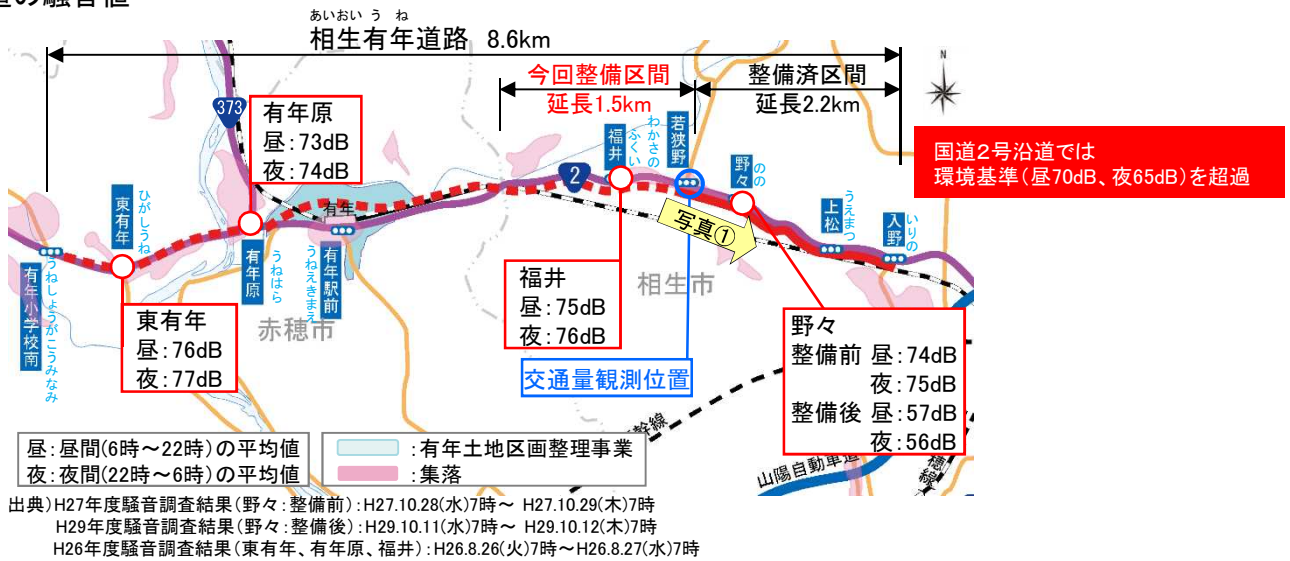
相生有年道路の整備済区間では遮音壁の設置等により、沿道騒音が改善し、昼夜とも環境基準を満たしていることから、今回整備区間においても沿道騒音の改善が期待されます。

■大型車の交通状況

○調査地点: 相生市若狭野町八洞

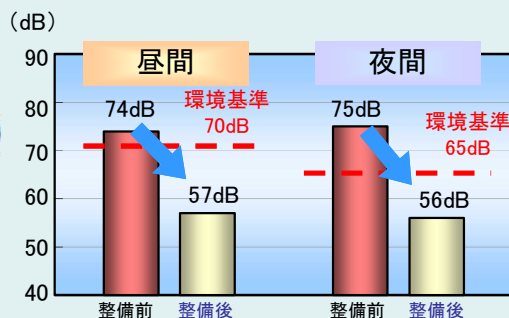


■沿道の騒音値



●整備による効果

写真①



今回整備区間でも沿道騒音の改善が期待されます